

第273回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成22年11月29日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
笠井 明	委員	吉原 浩	委員
碓井 真史	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	前川 磐
専務取締役（報道・制作・国際担当）	奥野富士郎
常務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長	竹石 尚史
報道制作局次長 兼 報道制作部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
合評番組プロデューサー	小木 裕介
事務局	海津 智洋 紫竹 聡子 水野 明子

## 4 議 題

### 1) 番組合評

#### 「ネイチャーアイランド サドラブ！」

[放送 : 2010年10月30日(土) 10:30~11:00]

(説明: 番組プロデューサー 小木 裕介)

### 2) 会社報告

①10月の視聴者の意見。 (報告: 視聴者相談室長 海津 智洋)

②講じた措置、公表など定例の報告等。 (報告: 事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要 (委員の意見)

会社側から、この番組は県から依頼を受けた広報番組であり、昨年度の新潟県大観光交流年の成果を活かして、今年度の行政課題について県民に理解を促進させる企画の一つであること。

「佐渡の魅力再発見！」というテーマで来春に向けて公開準備が進められている大佐渡地域の県有林でのトレッキングおよび海でのダイビングスポットの魅力など佐渡の新しい魅力を発掘・広報しようという番組であることなどを報告した。

●「ネイチャーアイランド サドラブ！」というタイトルがポップで楽しそうな感じであり、内容も全体的に軽めで楽しい佐渡情報番組で良かった。

●「サドラブ」というように「ラブ」を極めるような構成、た

たとえば海なら海繋がりでも思わず行きたくなるような工夫があっても良かったが、各スポット紹介になったのは残念に思った。

●海のシーンでコブダイ「弁慶」を知らない人のために「弁慶」を色々紹介している情報たとえば映画のシーンなどを入れて紹介するのも良かったのではないかと思った。

●知事の登場は唐突だったが、ビショビショの笑顔は見ていて本当楽しそうにしていたのが伝わってきて良かった。

●コブダイの「弁慶」のシーンでは、もっと他にもコブダイはいるはずだし、もっと魚の多く泳いでいるシーンが欲しかった。

●コブダイの生態・習性や、なぜ佐渡に天然杉が群生しているのかなどを番組内で解説してくれると良いと思った。

●洞爺湖サミットで使われていた「金剛杉」の写真映像が出たことで、そんなすごい場所なんだという感じが出て、納得できて良かった。

●映像に出てくる場所の距離感がわからない点があり、たとえばカマキリの巣の位置の話の時には例年どれくらい積雪がある所なのかとか、材木の運搬の話の時もどれくらいの距離の山道を運んだものなのかなど分からないところも残った。

●いつもの広報番組のスタート印象だったが、コブダイと遊べたり、金剛杉を見にいけるルートの紹介だったり、一視聴者としての新情報もあったので、もっと最初からいつもと違う感じでワクワク感を盛り上げてくれれば良かったと思った。

●昔の材木運びなど島の歴史映像の中に知らない驚きがあり、歴史や生活のストーリーなども観光資源なのかなと思った。

●原生林の道は昭和30年代まで生活道路として使われており、丸太を背負う婦人の写真が紹介されていて昔は杉林を越えて行

商に出かけていたことも分かり興味深かった。

●佐渡原生林トレッキングが印象に残った。1日16人限定で年間200人まで。専門ガイド同行が条件など自然保護の規制の強い所だと思った。

●エコツアー全体について、撮影時も専門ガイド同行のうえ、特別の許可をもらって撮影していることなど、規制された環境エリアであることを改めて伝えていくことが必要だと思った。

●想定された視聴者が県内向けなのか県外向けなのか分かりにくかった。県内だけでなく、県外へも放映してほしいと思った。

●地方への旅行者、観光客は団塊の世代以上が多い。海にしても山にしても広報番組としてどの辺の年代に狙いを絞っていくのかを明確にしていく必要があると思った。

●佐渡は自然だけでなく歴史的なものも多い。うまく情報発信すれば県外どころか外国からも人を呼べると思った。

●観光番組では紹介場所への行き方などの説明があるが、今回は地図での位置情報のみで初めての人はどうやって行くのかが分からないと思った。旅情報の詳細も番組の中で完結しているのが親切なのかなと思った。

●30分の番組枠の中では情報満載は難しい作業であり、是非別の番組企画で違う部分を取り上げて更なる情報発信をして欲しいと思った。

●マリンレジャーもエコツアーも10月末の放送タイミングでは気分は盛り上がりもどうしようもなく、来年まで待つしかない。もったいないと思った。

●佐渡には海の間際に田んぼがあったり、柿の木がすべて低木にして収穫しやすい高さに揃えてあったりしている。普段の通

りの両脇にある風景を紹介してくれたら良いと思った。

●作られた観光資源ではない、整えられていない自然な感じの風景、地元の人がなんとも思わない風景にこそ、都会の人が見たらとても魅力的なのではないかと思った。

●佐渡の原生林はついこの間まで入れなかった。生活圏や文化圏を分けるくらいの山であり原生林であったものにスポットを当てたというのは画期的なことだと思った。

●「ネイチャーアイランド」と聞いて、いよいよ今まで広報の中心であった「金山」から脱して海や原生林へ観光ターゲットを広げたかと思った。そういう意味で、この番組は県や佐渡の情報発信の課題提供としてとても良かったと思った。

## 6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

10月……119件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成22年10月18日)から昨日(平成22年11月28日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第272回審議会では「夕方ワイド新潟一番 15周年ありがとうスペシャル」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第 273 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送しました。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載しました。

## 9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 10月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 10月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（10/23, 11/3, 11/13, 11/23号）

以上